

(令和3年11月22日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識) >
(消費者物価指数)

- ・21年10月の消費者物価指数は、「総合」で前年同月比0.1%の上昇となりました。価格変動の大きい「食品とエネルギーを除く消費者物価指数」は対前年比▼0.7%下落。
- ・同月、米国の消費者物価指数は、総合で前月比6.2%の上昇、「食品とエネルギーを除く消費者物価指数」コアCPIは前年同月比4.6%の上昇となっています。
- ・その中で、米国のエネルギー指数は、前年同月比30.0%、前月比4.8%の上昇。日本は、11.3%の上昇、前月比は2.1%の上昇となっています。

(消費者物価指数)



総務省統計局ウェブサイト、消費者物価指数より作成

日本の消費者物価指数は、物価が上昇しない経済構造になっていて、なかなか2.0%に届きません。適度な物価上昇が欲しいところです。日本の企業物価指数は、原材料や中間財の輸入品が上昇していますが、それでも海外に比べると軽微。

ちなみに、日本のエネルギーは08年7月に前年同月比17.4%上昇していますが、それ以前に17.4%を上回るのは1981年01月の21.3%まで遡ります。また、1971年以降の統計では、オイルショックでの1980年5月の48.8%が最高になります。

(了)